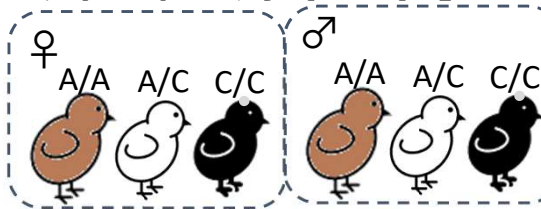


福地鶏の遺伝子選抜による性能向上

●目的

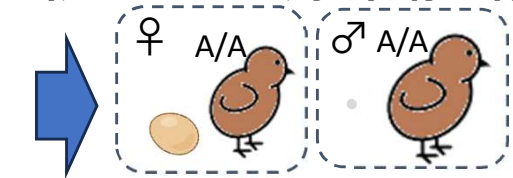
発育性に関連するコレシストキニン受容体遺伝子の型（A/A型、A/C型、C/C型）を基に種鶏を選抜し、産卵性能を維持（雌）し、発育性の優れる（雄）福地鶏へ改良する

【現状 福地鶏（推定）】



雌雄各3タイプ：個体差大

【仮説 比内地鶏と同様の特性】



雌雄同じ1タイプ

個体差小、産卵・発育性高位安定

●試験内容

1 遺伝子型別（A/A, A/C, C/C）各鶏種の性能調査

【R7～8】福地鶏：雌の産卵成績、雄の発育を調査

調査項目：遺伝子型頻度、体重、飼料摂取量、産肉成績、産卵成績

産卵性能は維持し、発育性が優れる遺伝子型を決定

【R9～10】種鶏（岡崎おうはん・ロードアイランドレッド）：

種卵生産への影響を調査

調査項目：遺伝子型頻度、体重、外貌、精液性状、産卵成績、入卵率、孵化率

【R10～11】（生産者実証）福地鶏：雌の産卵成績、雄の発育成績

調査項目：体重、産肉成績、産卵成績

2 選抜法のマニュアル化

【R10～11】

DNA抽出用サンプル採取方法、DNA抽出方法、PCR方式などの比較選抜方法のマニュアル化

●期待される成果

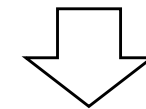
種鶏改良による福地鶏の性能向上

雄 発育性向上

$2.5 \pm 0.5 \text{ kg} \rightarrow 2.8 \pm 0.2 \text{ kg}$
(120日齢体重)

雌 産卵性維持

産卵率70%以上



福地鶏の生産量拡大
生産者の収益増加